

# 捕獲の負担重く

8月だけで12頭

それでも、この数字ですから

長野市街地を見下ろす同市浅川向去地区。同地区に住む鶴田敏光さん(75)は、地区では貴重な狩猟免許を持ったベテランとあって今夏、農作業の傍ら出沒するイノシシやシカ(ニホンジカ)への対応に追われました。



わなを手にする鶴田敏光さん

「今年8月だけで12頭。例年ならせいぜい1、2頭です。農繁期ですから、仕掛けられるわなは、ごくわずか。自分の畑と、(出沒に手を焼いて)どうしても、と頼まれて地区内の畑に設置した、合わせて3、4力所だけです。」

「わなに獲物がかかると」処理に半日はかかるのが、農作業を抱える身にとっては痛いところ。有害獣駆除・個体数調整の名目で国や市から補助金が出ますが、捕獲の支援の場限られます。「地区のためです」。年が明ければ76歳になると言う鶴田さんにかかる役割は減りそうにありません。

## 対策も農作業も両立に苦慮

中山間地の農業では田畑を荒らす野生動物への対策はもはや不可欠ですが、近年全国各地で、市街地でもクマやイノシシ、シカなどの出沒が珍しくなくなってきました。対策(捕獲)の現場を訪ねました。

長野市森林いのしか対策課によると、市内での捕獲頭数について、イノシシは2019年度1337頭から20年度1480頭と増えている状況。一方、シカは19年度1067頭でしたが、昨年度(22年度)は1480頭と増えている状況。

### 捕獲したシカはジビエに

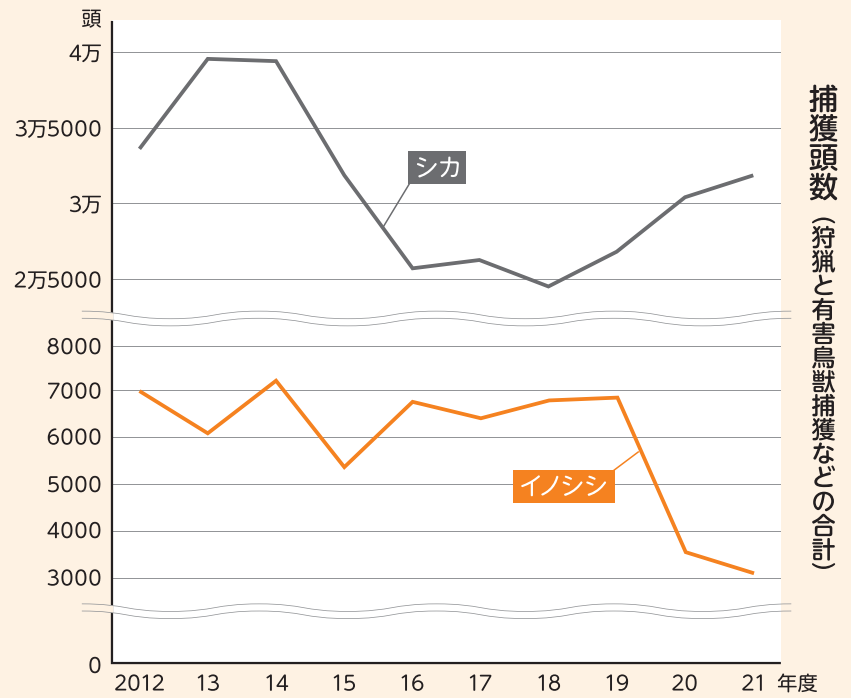
長野市森林いのしか対策課によると、市内での捕獲頭数について、イノシシは2019年度1337頭から20年度1480頭と増えている状況。一方、シカは19年度1067頭でしたが、昨年度(22年度)は1480頭と増えている状況。

# 田畑にシカ、イノシシ…出沒が日常化



長野市街地を見下ろす同市浅川向去地区。飯綱高原から続く山を背負い、野生動物の出沒が絶えない。

【イノシシ、シカ(ニホンジカ)の捕獲頭数】長野県林業統計書によると、それぞれの捕獲頭数は、狩猟による捕獲と有害鳥獣および個体数調整による捕獲数に分けて数えられており、合わせると2021年度の場合、イノシシ3085頭(うち狩猟は856頭)、シカ3万2492頭(同5120頭)。シカは4万頭近かった13年度をピークに減少したものの、近年は増加傾向です=グラフ参照。



捕獲頭数(狩猟と有害鳥獣捕獲などの合計)

## 食と農で地域に笑顔をつくります

### 次代につながる農業・組織・経営基盤の確立

持続可能な地域社会へ  
JAは取り組んでいます

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

15 陸の豊かさも守ろう

## おはようございます

JA佐久浅間 立科支所 共済課  
スマイルサポーター 市川 裕



窓口業務を担当しております。日頃より、組合員はじめ地域の皆さまには、温かいお言葉をかけていただきありがとうございます。JA共済では「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障を提供しています。皆さまに、共済に加入して良かったと少しでも思ってもらえるように、日々の業務で分かりやすく、丁寧に保障内容をご案内してまいります。ご不安、ご不明な点がございましたら、お気軽に窓口にご相談ください。

## 健康 Q & A

### 摂食嚥下障害について教えて

Q 80代の父が食事を取れなくなってきています。摂食嚥下障害について教えてください。(60代、男性)

A 食事をすることは、とても大切な行為であり、かつさまざまな段階を経て食べ物を胃へ送り込んでいます。まず食べ物を認識することから始まり、口に入れ、よく噛み砕き、食塊を作り、最後に飲み込むという一連の動作によって行われます。この一連の動作に障害が起きている状態が「嚥下障害」です。

- 摂食嚥下障害の種類としては、
- ▽先行期 口に入れる時、食べ物を認識
  - ▽準備期 食べ物を砕く、食塊形成
  - ▽口腔期 口や舌や咽頭へ送り込む
  - ▽咽頭期 咽頭から食道への送り込み、嚥下
  - ▽食道期 食塊を胃へ送り込む

以上、5種類のうち、どの時期に障害があるかによって評価し、嚥下しやすい食事の提供につなげます。口腔期以降の障害の場合、ミキサー食やムース食、ゼリー食となります。ムース食は、なめらかにした食べ物をゼラチンやゲル化剤などを使って作るムース状の食事を指し、飲み込みやすいことが特徴です。

嚥下障害の原因としては、脳血管障害(脳梗塞・脳出血など)による麻痺、神経・筋疾患、老化による筋力の低下などがあります。嚥下障害の症状が現れている方は食べ物が誤って気道に入ることが多く、窒息リスクが高くなります。上手に飲み込めなくなった結果、栄養失調や脱水症状、誤嚥性肺炎を引き起こす可能性もあります。家庭でできる嚥下のリハビリもありますので、早めにかかりつけの医師へご相談ください。

(JA長野厚生連長野松代総合病院附属若穂病院 院長・外科 熊木俊成)

## お知らせボード

### ★今年も長野県産新米キャンペーン

JA全農長野は長野県産の新米購入で1万円分のお米券などがもらえるキャンペーンを今年も展開しています。12月31日(日)までにキャンペーンシールが付いた対象商品を二つ購入してウェブ、またははがきで応募してください。詳細はキャンペーンホームページ(下記QRコード)で。対象商品はJAタウン(同1)、バイクック(同2)、マイパール長野(同3)からも購入できます。



キャンペーンHP 1 2 3